



ありんに便り

2015 年

5月14日発行

通巻第22号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内 1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会 気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

第5回ありの会総会が開かれました

2015年4月25日(土)午後1時30分より、南大沢生涯学習センター視聴覚室にて31名の会員が参加して第5回ありの会通常総会が開催されました。

今度の総会では役員4名が退任し、新たな4人が承認されました。又、内山会長が一身上の理由により退任されましたので、田上副会長が会長代行として挨拶と活動報告、及び、新年度の事業計画を説明されました。

なお、今回は(由木かたくりの会)炭谷理事長も出席され、お祝いのお言葉を頂きました。又、ありの会総会で最後まで在席されたのは初めてだそうです。

総会のあと、田上副会長から、「役員交替にあたり、毎年後任者選びが難航しています。引き受け可能な方は積極的に参画して欲しい。又、会長・副会長(男性)についても、定年を迎えるなど時間に余裕が出来た方は協力して頂きたい」と話がありました。

【総会議事報告】

1. 開会の辞：出席31名、委任状44名、会員総数91名中2/3以上となり、総会成立。
2. 「ありの会」会長挨拶：(会長代行) 田上副会長
3. 議長選出：備前様を選任
4. 議事
 - ・報告事項：H26年度活動報告、H26年度収支決算報告、監査報告
 - ・決議事項
 - 1号議案：H26年度事業報告、決算報告の承認 ➡ 拍手による賛成多数で議決
 - 2号議案：H27年度役員の承認 ➡ 拍手による賛成多数で議決
 - 3号議案：H27年度事業計画、収支予算案の承認 ➡ 拍手による賛成多数で議決

閉会の辞



「障害者虐待防止」学習会を開催

～ 具体的でユニークな講師の語り口が好評 ～

2015年3月7日(土)PM2:00～4:30にかたくりの家で「障害者虐待防止」の学習会を開催しました。講師は、社会福祉法人睦月会理事長の綿祐二氏で、日本福祉大学福祉経営学部教授を兼任されておられます。学習会の内容は、「虐待とは／虐待防止の法制度／虐待の実態／虐待防止対応(施設／家族)」ということで、不祥事のあとでもあり、関心も高く、31名の方が参加されました。

身内に障害者を抱えておられる講師のお話は、どれも大変具体的で、しかも、かなりユニークな語り口は聞き手を惹きつけ、参加者はみんな聞き入っていました。アンケートの結果でも、「大変良かった」「又、別の内容で話を聞きたい」という方がたくさんおられました。



グループホームへの入居が始まりました

新しい木の香りのする建物へ引越し荷物が運び込まれ、グループホーム(以下GH)への入居が始まりました。地域の方々との話し合いが長くかかり、法人内での不祥事の発覚、レガレの開所と重なるなど様々な困難な状況の中でのスタートとなりました。十分な準備・体制整備の上でのスタートではありませんが、出来る準備と努力を重ね、3月23日から女子棟に2名が入居し、GHでの生活がはじまりました。親元を離れ一人での生活に期待と不安もあるでしょうが一日も早く新生活に馴染んで下さい。

入居される方は

Uさん(食品加工)、Eさん(ぶらさ)、Oさん(生活介護)、Oさん(食品加工)、Kさん(喫茶)、Nさん(生活介護)、Bさん(生活介護)、Hさん(生活介護)、Mさん(由・生活介護)、Wさん(由・生活介護)です。



特別な行事も無しにたんたんと始まり、徐々に入居者も増えて入居者・職員も新しい生活、仕事の流れが整いつつある今日この頃ですが、連休前の4月30日に入居者、家族、職員での初めての懇親会が催されました。女子棟のリビング・ダイニングで夕食を交えて、自己紹介や入居者の自宅とGHでの違いなどの情報交換、意見交換など楽しい歓談が行われました。

GH事業は「かたくりの会」としては初めての事業ですから、職員・家族が協力しながら実績を積み重ね、地域の理解と信頼を得て行かなくてはなりません。これからはGHのニーズが高まって行くと思われますので、今回入居された方の保護者・職員の方々のみならず、法人・職員・家族会・後援会が一体となり今後のグループホーム設立に向けて努力して行く事が大切です。会員の皆様にも一層のご協力と支援の程宜しくお願いします。



歓迎！新しい仲間が増えました

～「かたくりの会」入会式が行われました～

2015年4月1日(水)午前10時30分よりかたくりの家2階の生活ルームで5名の入会者を迎え、利用者・職員・家族・来賓の方々と入会式が行われました。理事長の挨拶のあと、入会者一人一人に理事長から入会証書が授与され、利用者からは花束が贈呈されました。又、来賓の方々・利用者代表・家族会会長からの挨拶のあと、職員のみなさんが紹介され、その後全員で歓迎のダンスとなり、更に和太鼓演奏で楽しい入会式もクライマックスを迎えました。



なお、入会式に参加した新入会者は5名でしたが、5月11日に更に1名の入会者があり、新入会者は合計で6名となりました。

今年12月には、由木かたくりの会も社会福祉法人となって10年目を迎えます。法人も安定した事業を展開出来るまでに成長して来ましたが、まだ課題も多く、家族会としても一層の協力・支援が必要だと考えますので、会員の皆様の更なるご協力をお願い致します。

◆ 新年度の入会者のご紹介

Mさん	ぶらさ de かたくり
Iさん	かたくりの家・B型
Yさん	由木工房B型・喫茶
Nさん	由木工房B型・喫茶
Mさん	由木工房B型・食品加工
Iさん	由木工房・生活介護

多摩桜の丘学園より
八王子特別支援より
八王子特別支援より
多摩桜の丘学園より
多摩桜の丘学園より
(八王子市)H27.5.11 ～



「レガール」の活動状況

平成24年4月より、法が改正され相談支援の充実が図られた。その中、支給決定のプロセスが見直され、サービス等利用計画またはセルフプランの作成が福祉サービスを利用する上で必要となりました。サービス等利用計画に関しては、相談支援事業の相談支援専門員が作成することになるため、相談支援専門員の存在が今まで以上に重要視されます。レガールも昨年の12月より開所して4ヶ月になり、試行錯誤しながら運営で色々とお不便をお掛けしておりますが、今後ともご協力をお願いいたします。

また、たくさんの方からのお申込みをいただき、4月1日現在で57名希望があり、作成終了は35名になっております。2名の職員で計画作成・面談を致しておりますが、面談・相談にかなりの時間を割く業務で、6月末までには希望者全員の作成が終わる予定です。今しばらくお待ちいただければと思います。(唐戸)

福島県福祉施設商品の共同購入

春の訪れとともに、福島支援の品物が3月25日にかたくりの家に届きました。翌26日にありの会・後援会の役員・元役員の方々と仕分け、皆さんのもとへ届けました。

品物は食品（ラスク、クッキー、etc）あり、手作りの小物ありで、かたくりの家のパティールームのテーブルの上はいっぱいになりました。仕分けは、「ラスク」といっても何種類（何か所かの作業所で作られています）もあり、「何番？」「どこの？」「いくら？」「何個？」などと声をかけながらどんどん仕分けして行きました。

「東日本大震災のことを忘れない活動」を後援会と共にありの会もお手伝いしていきたいと思います。今回忘れた方は次回によろしくお願いします。



広報ワークグループから活動紹介と提案

ありの会の活動を知らせる広報誌として「ありんこ便り」が発行され、家族会のメンバーに配布されて、さまざまなお知らせ、連絡、情報、意見交換の場として活用されています。

また、ありの会の活動として2011年から、由木かたくりの会の家族会「ありの会」ホームページ「ありんこ Home」が開設されています。「ありの会」のこれまでの活動の経過と行事の記録が掲載されていて「Home」を見ると、あんなことがあった、こんなことも、と年を追ってたどることができます。

紙に印刷した「便り」は家族会メンバーの手元に届くのに対して、ネットワークとパソコンを通して接するという「道具だて」と、自分の手と指を動かしてパソコンのマウスをクリックするという「みずからの意思と動機」によってホームページを開いて見る「必要」があります。そこまでして「ありんこ Home」を家族会のメンバーに見てもらうにはそれなりの惹きつける魅力が必要です。ホームページだから出来ることは沢山ありますが、見せたいものをすぐに見せられることが一番ではないでしょうか。「ありんこ Home」の中には「ありんこ広場」があり、ここで会員の意見や情報を共有する事が出来るようにしてあります。

そこで提案です。家族会のメンバーにすぐに見せたいものは、家族会の皆さんや由木かたくりの会に関わる皆さんが日々のなにげない生活の中で「こんなことがあったよ」とか、「あんなことをやっているのを見た」とかの発見の中にあって、「それをすぐにみんなに見せたい」、「伝えたい」ということにあります。それらを「1、2日のうちに」ということであれば、対応する事が可能です。方法としてはつぎのようなことが考えられます；

「すぐにみんなに見せたい」、「伝えたい」ということを見つけたらそれを短い文章と、写真があればそれも一緒に、電子メールでつぎのメールアドレスに送ります

『 arinko_renraku@yahoo.co.jp 』。 そうしたら、1、2日のうちに「ありの会」ホームページに載ります。とはいえ、ホームページの編集者が2、3日不在ということもありますので、その範囲での「すぐに」と理解して下さい。これが「ありの会」ホームページ編集者からの提案です。

皆さんのご意見や、お知恵をメールでお聞かせください。

4月25日に開かれた「ありの会総会」でホームページに「ありの会の役員会議事録」を掲載した事をお知らせしました。これを見る為の「パスワード」は議案書に記載してあります。簡単なセキュリティの機能しかありませんが、不特定の第三者には非公開としていますので、ご配慮をお願いします。「ありんこ Home」を見るにはGoogle でも Yahoo でも何でも良いですが『ありの会 かたくりの会』の2つを入力して検索すると、ありの会のホームページのどこかが見つかりますので、そこからTopページに移って「お気に入り」に登録して下さい。



かたくりの会と私と

野口洋子

八王子で一番に法人化を実施したのは「落の会」〈元八王子〉で、2001（平成13）年である。この頃、私は市内の施設関係者同士のコミュニケーションを大切にし、運動会や福祉まつり、各施設の催しや祝いごとには積極的に参加して情報を集めていた。最大の関心事は法人化であった。かたくりの会を法人化したらどんなメリットがあるのか。「落の会」の法人化はいい刺激となり、かたくりでも検討委員会を設けて学習した。学習した成果を家族に報告してみなで考える。

そのころ私が考えていた法人は最もハードルの低い小規模法人で、資産は1000万円あればよいとの条件で、そのくらいなら手の届かない難しい問題ではないように思えた。だがどうもまいち確信がもてなかった。そんなにがんばって法人化しても、いまと異なるどれほどのメリットがあるのかということ。家族もそんなではなかったかと思う。

「落の会」の理事長・岩澤六夫さんをお願いして小規模法人の申請書類をすべてコピーしてもらおう。ちょっとした薄い本くらいあってぎょっとしたが、おいおい読み込んでいく。

また、これまでになにかとお世話になり頼りにしていた八王子市役所の中島さんに相談したりした。彼の意見では、この規模の法人では、補助金の額、内容からいって、期待するほどのメリットはないのではないかということであった。私も、それまでの勉強するなかで、どうもそんなくらいかなという感触があり、すぐには申請しないことに決めた。要するに様子見ということ。もちろん勉強は継続していくが。

この法人化をめぐる試行錯誤と並行して、もう一つの課題があった。かたくりのログハウスは都の緊急整備費で建設したものだが、10年を経過すると再申請できる権利があった。運営委員会に諮って、利用者により使い勝手のいいものに立て直そうと（これだけ使っていたらいろいろ注文もでくる）いうことになった。この建設には、かたくりの会の、行政との長年の、いうならば戦いでやっと獲得したもの。もう10年も経ったかと感慨一入（ひとしお）ではあったが、感傷にふけている間はない。立て直しの設計は、ログハウスを最終的に設計した森川さんをお願いする。彼にはこれまでもかたくりが窮地に陥ったときになにかと助けていただいた。

都の補助金は2400万円を申請する。これに加えて自己資金として500万円が必要であった。資金集めはかたくりの体質的なものではあったが、これまで以上に物品販売の出店、コンサートや講演会など、ありとあらゆる機会をとらえて挑戦した。いま振り返ると、我ながら一種金の亡者になっていたかもしれない。

講演会は、当時、日野市の身障者施設「すずかけの家」の初代施設長に、障害者の作業所づくりから法人までの道のりについてお話いただいた。

講演会主催のコンサートも何回か開催された。津田みどりさんのご主人のお友達の美海ゆみ子さんをご紹介いただく。美海さんは、女優さんだが、その後、シャンソン歌手として本格的にデビューされた方で、心身障害者のための歌のレッスンやチャリティ〈君の友達コンサート〉を主催し、現在も続けている。シャンソンだけでなくカンツォーネ、日本の歌、フォークソング、タンゴなど幅広いレパートリーを持つ。かたくりの会では利用者、職員、親もほとんど全員で、電車で渋谷のライブハウスに出かけた。利用者は最後に舞台上に立って歌ったり踊ったりでとても楽しんでた。



美海さんには、その後も南大沢文化会館の大ホールでコンサートを開催し、資金作りにご協力いただいた。本当に感謝しています。おかげで資金作りもかなり順調に進んでいたが、好事魔多しというか、肝心の都の補助金申請が認可されない事態となった。よほど条件が厳しかったのか財政事情が好くなかったのか、八王子市内で申請したものはすべてだめだったとあとで聞いた。

この頃、運営委員会内で、ある件から意見が割れて、私はかたくりの会代表を降り、津田みどりさんに代わった。法人化の試

行錯誤といい、補助金の件といい、当時の私は疲れてしまっていた。

幸か不幸か、代表を降りたことで、ちょっとばかり解放された気持ちになり、それまでできなかった旅行を楽しんだりした。郷里の札幌にも帰省できたのも何年ぶりだろう。九州にも行った。

そんなのんびりしていたある日、学生時代からの友人から、千葉に遊びに来ないかという誘いがあった。彼女は、私がかたくりの会の立ち上げからの労苦をよく知っているので、今後の参考になるかと障害者施設を案内するというのだ。その施設は社会福祉法人「こぶし園」で、千葉県野田市にあった。敷地の広さと建物の大きさと、なによりも利用者はとてもものびのびと活動しているなという印象があった。かたくりもこんな安定した運営としっかりした建物の中で活動させたいものという思いを強くする。かたくりの会ももう少しなんとかならないかと。

そうした思いを夫に話すと、出来ることは協力するからと言ってくれた。それでまた再チャレンジというか、まず飯田橋にある社会福祉協議会の長谷川さんに、夫と一緒に行って話をうかがった。やはりそう簡単にできるものではないと思われた。

長谷川さんに続いて、「平和の家」の施設長の阿部氏、療育センターの藤田氏、八王子市障害福祉課の岡部課長、主任の平塚氏などと意見を交換する。それらの人たちの意見を集約すると、「法人化の行程は並大抵のことではできないが、野口さんのこれまでの経験と持ち前のがんばりでやってみたら」というものであった。なんか馬鹿力でがんばれと言われたような気がした。岡部課長の、市として全面的に協力すると言ってくれた言葉が心強かった。

そうこうしているうちに、平成14年度の総会が南大沢複合施設の会議室であり、運営委員の藤谷浩先生、山下洋児先生、会計の深谷誠氏のほか会員の多数が出席された。私は、この席でかたくりの会の安定した運営と今後の福祉の在り方は法人化の道しかないと思えたと訴えた。このとき代表に立候補したのは渡辺さんと私であったが、投票により私に決まった。

こうして、未経験のことばかりの連続であったが、20数年で得た人脈の助けと行動力(馬鹿力?)を発揮する新たな戦いの日々が始まった。

つづく



お知らせ

◎ 法人事業の報告・説明会について

例年は5月から6月に行われています。昨年度に5事業部に増え報告内容も多くなると思われることから、各事業部ごとに行ってはとの提案もありましたが、例年通り全体で報告・説明を受ける事となりました。

開催日は調整中ですので、決まり次第お知らせいたします。多くの会員の皆様が参加されるようお願いいたします。